

多文化ソーシャルワーク講座（第7回）
2024年10月29日

ムスリムの要支援者への 対応で留意すること

愛知県立大学客員共同研究員
大橋充人
michito429@gmail.com



السَّلَامُ عَلَيْكُمْ

'as-salāmu 'alaykum

アッ = サラーム アライクム

Muslim

Islām



S L M

本日の進め方

1. 日本に住むムスリムの状況や背景を知る
2. ムスリムは何を信じ、何をしなければならない（してはいけない）のか
3. 実際に在日ムスリムは何を考えているのか、生の声を聴いてみよう
4. 支援者の声を聴きながら、支援の現場をイメージしてみよう
5. ムスリムの要支援者への対応で留意すること
6. 質疑応答／意見交換

在日ムスリムの人口推計

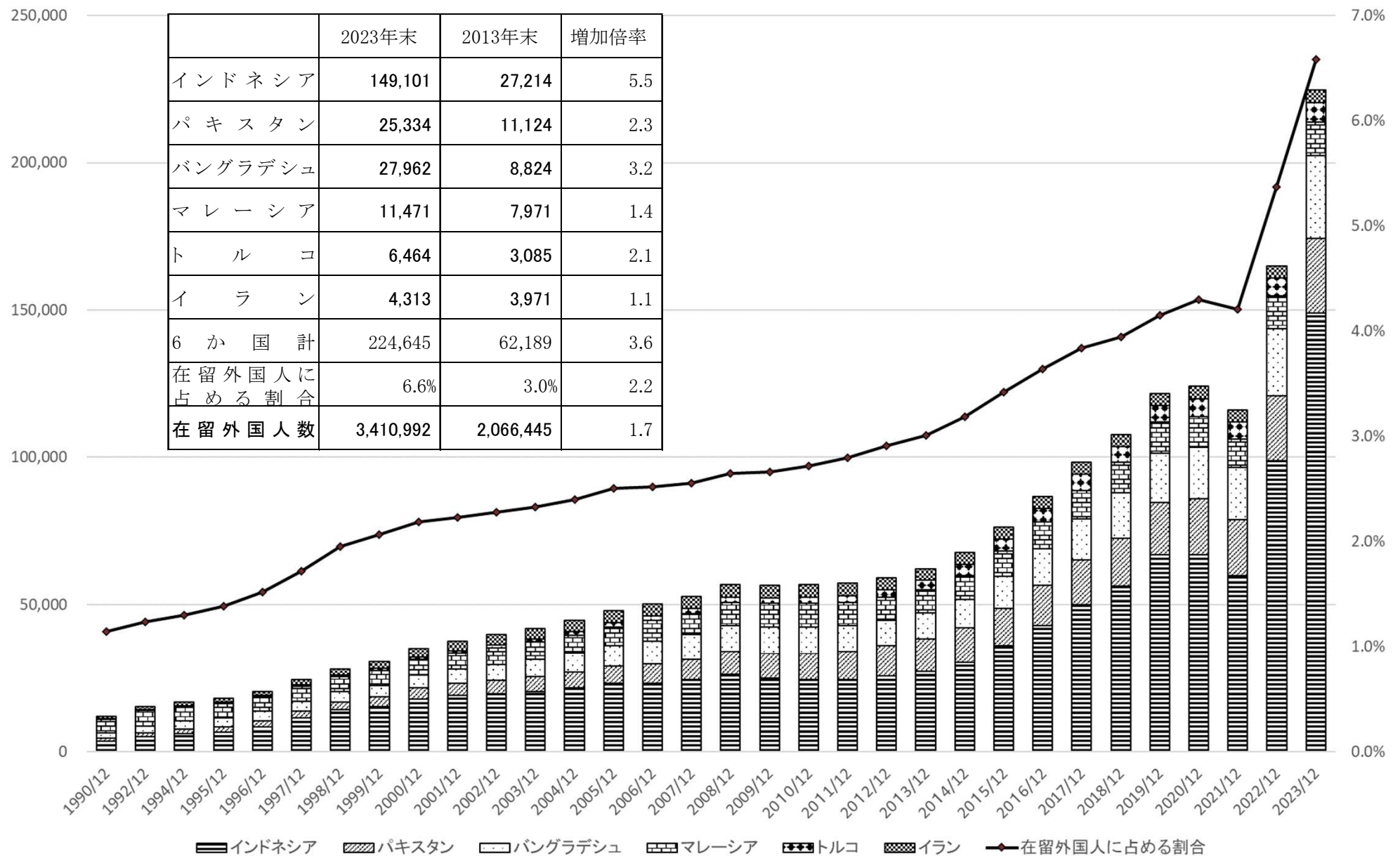
約 31万人～38万人

うち、日本人ムスリム1万人～8万人

(2023年12月末。独自推計)

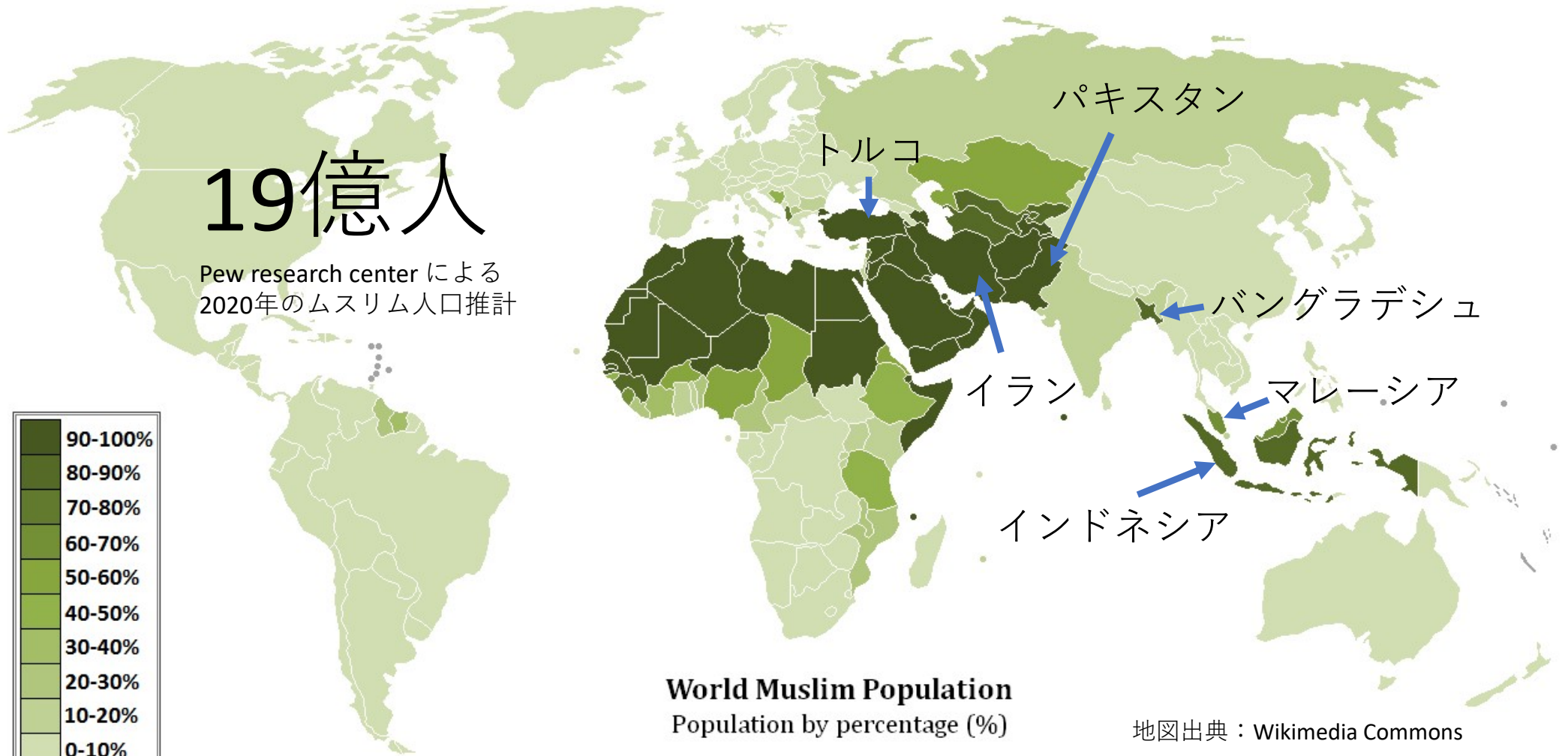
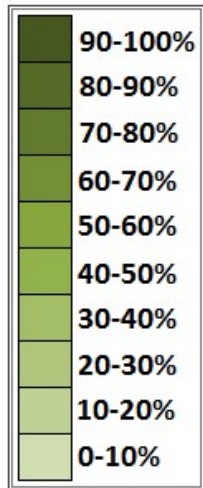
順位	1	2	3	4	5	6	7	8	8	10
都道府県名	東京	埼玉	愛知	神奈川	千葉	大阪	茨城	群馬	兵庫	静岡
推計人口	47,119人	25,017人	24,904人	22,782人	21,538人	17,556人	15,607人	9,368人	9,368人	9,198人

ムスリム主要6か国の在留外国人数の推移



19億人

Pew research center による
2020年のムスリム人口推計

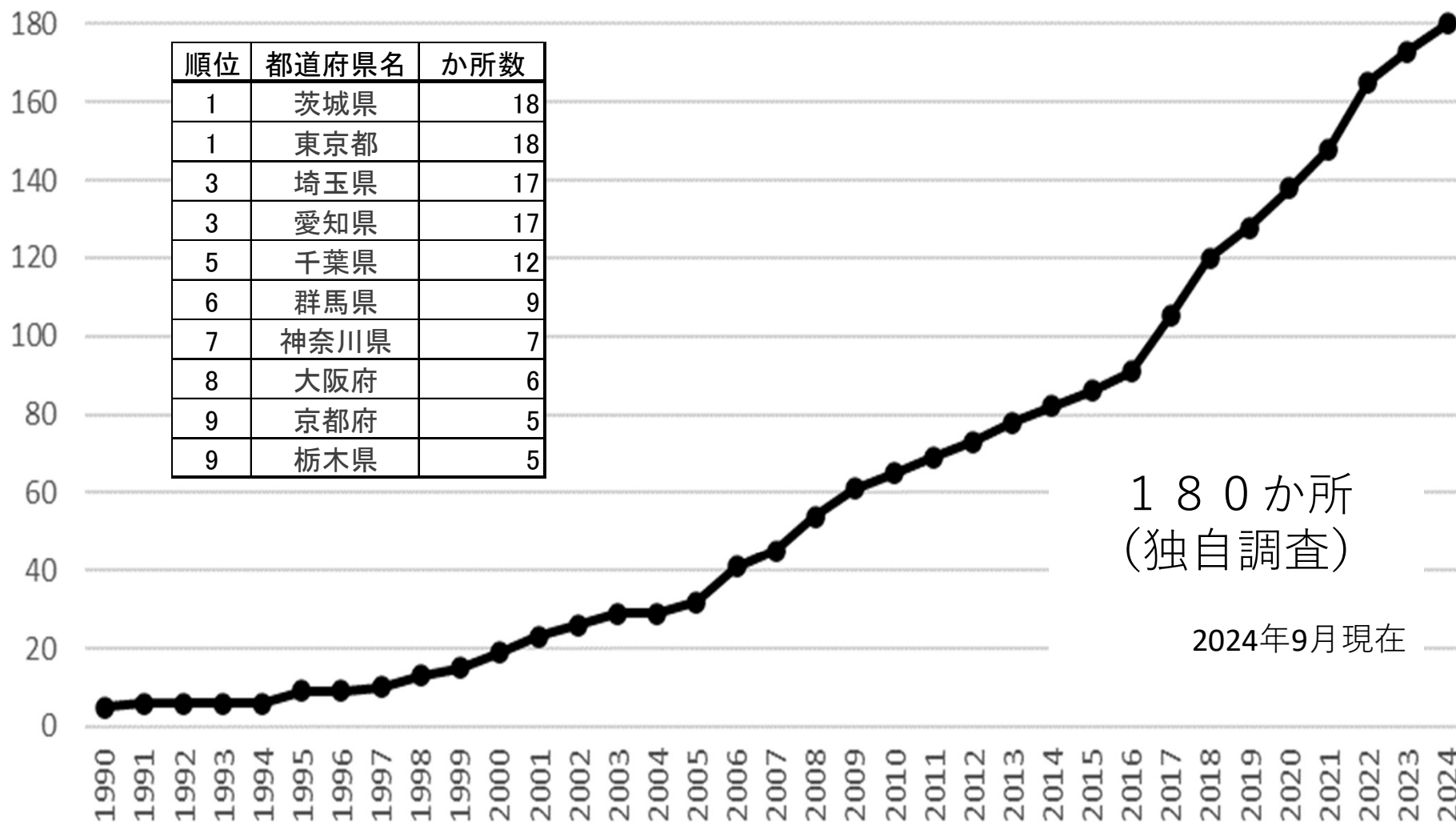


短期滞在査証相互免除協定

パキスタン、バングラデシュ（～1989）

イラン（～1992）

日本におけるモスク数の推移



注) Googleマップによる検索を基本とし、滞日ムスリムプロジェクト 全国モスク (マスジド) リスト等を参考にしながら作成)

茨城県内のモスク一覧

名称(仮)	住所	開設年(推測含む)
つくばモスク	〒300-2622 茨城県つくば市要315-9	2001 改築2019?
モスクド・アブー・バクル・シディーク(水戸モスク)	〒310-0844 茨城県水戸市住吉町153-22	2006
マディーナ・モスク	〒319-0124 茨城県小美玉市花野井783	2006
バイトル・ムカッラム・モスク	〒312-0035 茨城県ひたちなか市枝川302-1	2007
ビラールモスク結城	〒307-0001 茨城県結城市結城3509-1	2008
アンワレマディーナモスク	〒319-0111 茨城県小美玉市中野谷47-1	2008
日立モスク	〒316-0034 茨城県日立市東成沢町3丁目13-10	2009
いわい坂東モスク	〒306-0632 茨城県坂東市辺田1148-33	2009 移転2023
マーカズ ムハンマド アライ ジャパン	〒300-2748 茨城県常総市馬場441-8	2012以前?
イスラミックセンター・タジュウィード・ウル・クルアーン	〒306-0201 茨城県古河市上大野2018	2012以前?
ジャミヤ・モスクド・ミンハジ・ウル・コーラン・サカイ・ジャパン	〒306-0416 茨城県猿島郡境町伏木3392	2017?
アル・ムスタファ・モスク	〒306-0655 茨城県坂東市みむら728-3	2017?
モスクドアル・イクラスカンドツ	〒300-0012 茨城県土浦市神立東2丁目6	2018
モスクド・ウマル・ビン・ハッタブ	〒306-0501 茨城県坂東市逆井6071-1	2019?
石下モスクドジャパン	〒300-2707 茨城県常総市本石下4576	2020 移転2024?
モスクド・エヌユー・アッタクワ	〒306-0112 茨城県古河市東山田933	2021
下妻モスク	〒304-0031 茨城県下妻市高道祖1294	2022?
堺町ジャメ・モスク	〒306-0404 茨城県猿島郡境町長井戸1731-2	2024

(独自調査)

ムスリムになるには

信仰告白



لا إله إلا الله

アッラー以外に神はない

محمد رسول الله

ムハンマドはアッラーの使徒である

六信五行

六信

アッラー、天使、経典、使徒、終末、運命

五行

信仰告白、礼拝、ザカート、齋戒、メッカ巡礼

礼拝 1日5回 金曜日の昼は複数で

ザカート (制度的喜捨) 所有財産の2.5%
サダカ (自由喜捨)

齋戒 ラマダーン月に断食等を行う

断食⇒日の出から日没まで飲食しない

イフタール：日没後、みんなで食事する

イード・ル・フィトル：断食明けを祝う

(六信五行以外)

ハラール

イスラームにおいて合法とされたもののこと

「かれは正義をかれらに命じ、邪悪をかれらに禁じる。また一切の善い（清い）ものを合法〔ハラール〕となし、悪い（汚れた）ものを禁忌〔ハラーム〕とする」 (高壁章7：157)

ハラール（食に関して）

「言ってやるがいい。『わたしに啓示されたものには、食べ度いのに食べることを禁じられたものはない。只死肉、流れ出る血、豚肉——それは不浄である——とアッラー以外の名が唱えられたものは除かれる。だが止むを得ず、また違犯の意思なく法を越えないものは、本当にあなたの主は、寛容にして慈悲深くあられる。』」（『家畜章』6:145）

ハラール（アルコールに関して）

「かれらは酒と、賭矢に就いて、あなたに問うであろう。言ってやるがいい。『それらは大きな罪であるが、人間のために（多少の）益もある。だがその罪は、益よりも大である』」（『雄牛章』2:219）

ヒジャブ（肌を見せない）

「視線を低くし、貞淑を守り、アウラを覆うため、ヴェールを胸に垂れること、また認められやすく、悩まされず済むよう、長衣を纏うこと」が命じられている。（『御光章』24:31、『部族連合章』33:59）

男女で空間を分ける

「...またあなたがたが、かの女らに何ごとでも尋ねる時は、必ず帳の後からにきなさい。その方があなたがたの心、またかの女らの心にとって一番汚れがない。...」 （『部族連合章』 33:53）

土葬

「われは、それ（泥）からあなたがたを創り、それにあなたがたを帰らせ、またそれから今一度引き出すのである」 （『ターハ一章』 20:55）

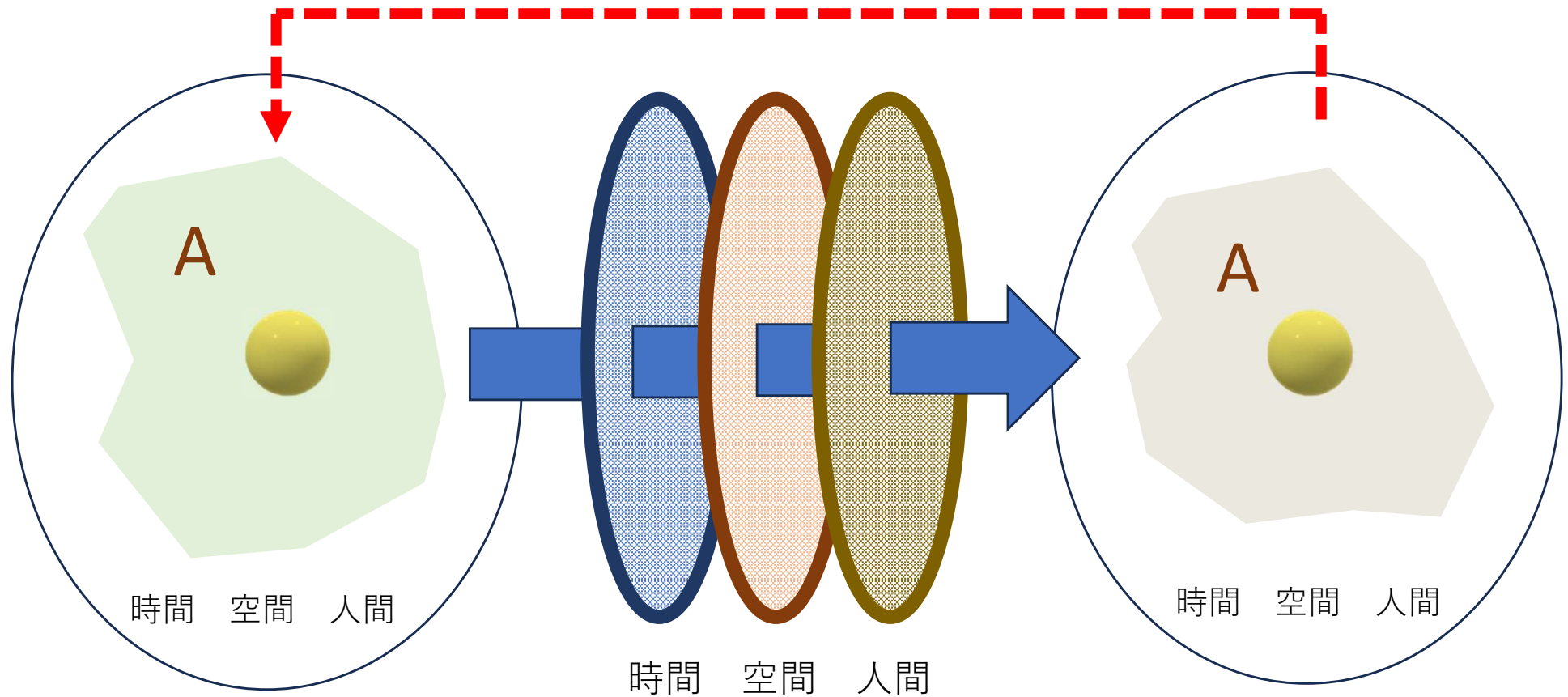
結婚の相手

男性は「啓典の民」（ユダヤ教徒やキリスト教徒）の女性と結婚することが許されているが、女性はムスリム男性としか結婚できない。（『食卓章』 5:5、『雌牛章』 2:221）

絵画や音楽を避ける <一部のムスリム>

コーランに禁止する記述はないが、偶像崇拝や不道德な行動を助長させる可能性があるため避けるべきという考え方がある。

宗教の見方（私見）



- ・ある宗教Aは、元のかたちから、時間、空間、人間等のフィルターを通して、時代や場、そこに住んでいる人たちに影響され、適合するように変わる。
- ・しかし、宗教には、核となる、変わらない、変えてはいけないもの（変わったらAではなくなってしまうもの）がある。
- ・人間のフィルターには恣意性がある。とはいえ、それもまた、その人にとっては信じているものである。また、変化は必然であるが、時に、元に戻ろうとする。

ムスリムの声【生活面】

レストランに行くと、豚肉がはいっていないか聞く。日本人と一緒にいるときは、牛肉はOKだが、厳しそうなインドネシアの人と一緒にだったら、ハラールを食べましょうと言ったりする。同じインドネシア人でも考え方は違う。

一番基準の厳しいムスリムに合わせてハラールを考えているが、それを乳化剤も平気なムスリムにも当てはめようとしている。

ムスリムの声【生活面】

水や卵、お茶にまでハラール認証をして、これでムスリムも安心してお茶が楽しめますとか言っている企業もあるが、お茶は今までムスリムは飲んできているので過剰な配慮である。遺伝子レベルで豚が入っていないか調べている認証機関もあるが、そんなことをされると、ムスリムの食べられるものがなくなってしまい、困ってしまう。ネギさえ買えなくなってしまった。

イスラームは、元々フレキシブルであり、食べ物の方が一番大切なわけではない。大切なのは、アッラーを信じることである。

ムスリムの声【生活面】

お祈りは、働いていたり外出していてできないときは、家に帰ってから、まとめてやったり、事前にやったりしている。

お祈りは、服を着替えるところや駐車場でもできる。

就職面接の際、ヒジャブをして行った。採用の連絡があった際、「この前の格好では来ないください」と言われ、ヒジャブをしているのが普通なのに、「普通の格好で来てください」と言われたことがある。

ムスリムの声【生活面】

火葬場に行ったときには泣いた。イスラム教徒としては、火葬に対して、かわいそうだと思ってしまう。

イスラーム的には、人は亡くなっても感じていると考えている。亡くなったあと、やさしく洗うのはそのためである。本当は感じているのに、火で焼かれるのは、かわいそうだし、さみしい。

主人は、自分が死んだら、火葬にしてほしいと言うが、義父が火葬されたのを見たら心が痛んだので、土葬にしようと説得したいと思っている。

ムスリムの声【子ども】

長女は、中学校ではヒジャブを許されていた。ただ、ある部活に入ったが、なかなか大会に出してもらえなかった。本人は上手じゃないから出られないと言っていたが、後でヒジャブをしているから大会に出られなかったということがわかった。

修学旅行で神社へ行ったりするが、学校側は、親から、修学旅行に行かないという申し出があれば「行かないんですね」ということで、それで終わってしまう。

ムスリムの声【偏見】

直接、ひどいことを言われたことはないが、友達
は、イギリスでテロがあったときに、なんでそんな
なものを被っているんだとか、ここは日本だと言
われたことがある。

自分は、いつまでも不審者と思われていて、一生
変わらないんだろうなと思う。

メディアでイスラム国のネガティブな映像が流さ
れると、誰かに何か言われなくても、イスラーム
に対してネガティブなことを言われるのではない
かと心配してしまう。

ムスリムの声【考え方】

イスラームは生き方である。アッラーは決して私たちの生活を困難で複雑なものにするためにルールや制限を定めているのではない。

※アッラーはあなたがたに易きを求め、困難を求めない。

日本の食べ物はおいしく、安心して住めるし、人がやさしいので住みやすい。

平安な生活を送ることが望みで、子どもたちがいいムスリムになるのを見守りながら生きていければ他には何もいらなと思っています。

支援者の声【相談】

ムスリム女性は、男性が一緒だと、男性が代わりに話をしてしまい、ほとんどしゃべらない傾向にある。

男性が女性の代わりに話すのは、宗教なのか、文化なのかかわからないが、男性がいる場で、女性が話さないのを無理に話させることは難しく、時には、男性に席をはずしてもらうことも必要ではないかと考えている。

また、宗教に理解のない男性によって、宗教的なことを禁じられるという「宗教ハラスメント」が行なわれている場合もある。DVや夫婦関係の問題に加え、こうしたハラスメントがあると、相談内容は、より複雑になってくる。

支援者の声【保健】

母国から一緒に来日したり、呼び寄せられた外国人ムスリム女性の場合には、母国と同じ習慣が持ち込まれやすく、日本語ができないこともあり、女性は外出ができなくて孤立してしまっている場合がある。

そのため、新生児訪問をしようとしても、なかなか連絡がつかず、やっと連絡がついて、通訳やご主人を経由して話を聞いてみると、産後うつになっている場合があったりする。

子どもを検診に連れて行かないといけないのに、ご主人が忙しいと連れて行けないこともある。虫歯や太り過ぎの子どもがいるといった心配もある。

支援者の声 【医療】

持続的に点滴を行なう場合は、針を血管に刺し、そこに点滴チューブを接続して行なうが、点滴が終わったら、いったんチューブははずし、針はそのまま残しておく。

その際、針から逆流した血液が固まってつまらせないように、ヘパリン（抗凝固薬）の希釈液で点滴のルート内を満たしておくが、その原料は、豚の腸粘膜から採取されたものであり、ムスリムには、豚由来のものはハラームであるため、親としては、受け入れられないものであった。

そこで、話し合いを重ねながら、代替方法を探っていた。

支援者の声【医療】

薬剤師が調べたところ、この病院で使っていたブランドのヘパリンには、豚由来成分が使われていることが判明。さらに調べたところ、豚由来成分を使っていない代替案があることがわかり、以降そちらを使用。

話し合いながら、お互いに歩み寄りながら妥協点を見つけ出していくと、患者から医療機関に対する信頼が増していく。

ムスリムの要支援者への対応で留意すること

- イスラームやムスリムに対する基本的な知識を得る。
- ただし、支援する上では、すべてを知る必要はなく、すべてを知ることは不可能である。
- ムスリムと言っても、ベーシックな部分※は共通しているが、考え方は人それぞれである。
 - ※アッラー以外に神はない。ムハンマドはアッラーの使徒である。
- ムスリムということを過度に意識することによって見えなくなることもある。個人としてとらえる※。
 - ※個別化の原則（バイステックの7原則の1つ）
- 外国人ムスリムは、非ムスリムの外国人より日本社会につながっていない場合がある。つなぐ役割が求められる。

(参考) バイステックの7原則

バイステックの7原則は、ソーシャルワーカーがクライアントと援助関係を形成する上で身につけるべき基本的な姿勢、技術として広く知られており、ソーシャルワークの原則の中で、最も代表的なものです。

- ① クライアントを個人として捉える（個別化）
- ② クライアントの感情表現を大切にする（意図的な感情の表出）
- ③ 自分の感情を自覚して吟味する（統制された情緒関与）
- ④ 受け止める（受容）
- ⑤ クライアントを一方向的に非難しない（非審判的態度）
- ⑥ クライアントの自己決定を促して尊重する（クライアントの自己決定）
- ⑦ 秘密を保持して信頼感を醸成する（秘密保持）

出典：愛知県（2011）「多文化ソーシャルワーカーハンドブック」